



老いてなほかつ

佐藤 昭

(新潟)

このごろの私

老いの深まりを実感する昨今、わが家より見渡す山々は万緑に包まれ、庭には色とりどりの花が咲き、小鳥の飛来を楽しみに、作歌に頭をひねる。歌の道は果てなし。コスモスに感謝！ 老いの花咲く。

もみぢ葉はこんもり深きかげおとし柿の若葉は陽を照り返す

とりたての苺をさはにとどけ来るとなりのまちのふるき友垣

うさぎどし八まはりきてとしをとこ九十六歳こころ健やか

阿弥陀経、謡に舞にとしをとこしづかに老いをやしなふ幸や

御題「友」観世清和謹曲の謡をうたふ我のたのしみ

シルバーカーのたすけをかりてコンビニで校友会費の支払ひすます

外つ国に生まれしひまご見ぬうちに五歳の誕生日写真送らる

足腰を伸ばすためにと簡易ベッド九十六歳の生まれ日に受く

ゆく春を惜しみて露をつみしとふ教へ子どつとリュックを置きぬ

ドライブの帰りに孫ら踏つめば老妻今夜はくりやにこもる

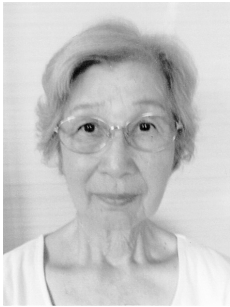
手指も腰も痛い痛いとかぼしつくりやいっばい醤油のかをり

頑健なきやうだい五人みまかりて我のみひとり九十路このそぢゆく

我いとけなかりしころに逝きませる母恋ひわたり老いの坂越ゆ

ふるさとの土蔵をこはし木を伐りて墓所再建し苗木植ゑたり

いつも行く公園なれど山法師いつきに咲けば飽かずながむる



合歓の花

塚本裕紀子

(東京)

このごろの私
最近わが家は家電が次々壊れ、加えて私の眼鏡の度が合わなくなりました。孫の世話もなくなり、これからのためにと検眼をしたり、ヨドバシに家電を見に行ったりしています。少し疲れますが。

飲み水もままならぬ人思ひたりたつた一日の断水の日に

あらく久しぶり一瞬そんな目をしたりいつも不愛想なそば屋の女性

青き背の光る鰯の腸抜きを見つつ恋ひたりし真水の飛沫を

焼き魚、御浸し、きんぴら、味噌汁とすつかり老夫婦の夕餉

ボーヴォワールに張り合ふやうなこと言ひし桐島洋子さん認知症とは

「聡明な女」の料理レシピありてみなおいしかった白き夏の日

街に出てレストランでの食事会「白州」の水割嫁と分け合ふ

塀の隅の守宮手に乗せ背をなでる昔少年五十の息子

ブロック塀の穴より道に張り出せる向日葵ぢきに太陽になる

道ゆけば俄に垣にもぐり込む四十雀きみは何処に居たのか

踵からドストドス歩くわたくしの足音怖いか小鳥も夫も

上手すぎないヴァイオリンの音心地よし古き平屋の家より聞こゆ

バスは今緑の木々をくぐりをりこのまま旅に行けさうな初夏

曲がり終へると万助爺さん居るやうなバス停「万助橋」日当たりの良し

高き木がひよいひよいと窓を過ぎて行く京王線特急 アツ合歓の花